

Kubota

# RX-153S

NEWクボタミニバックホー [ゼフシリーズ]

**ZEPHI**  
SERIES



# クボタの新・実力。ZEPH<sup>ゼフ</sup>、登場。

その先のクリーンへ、エンジンから進化したクボタミニバックホー。

青い空には、爽やかな風が似合う。

よりクリーンな環境への思いを込めて“そよ風 (Zephyr)” から  
その名を連想したクボタミニバックホー、ZEPH<sup>ゼフ</sup>シリーズ。

国土交通省排ガス第3次基準値に適合したニューエンジンを  
搭載し、ボディカラーもよりシャープなデザインとなりました。

もちろん、クボタ独自のハイパフォーマンスも細部にわたって継承。

トータルな完成度を一段と高めて、クボタミニバックホーが新登場しました。

# ZEPH<sup>ゼフ</sup> I SERIES

## 新エンジン搭載の ZEPH<sup>ゼフ</sup>シリーズ!



高出力、高トルク、クリーン排気。  
新世代排ガス対応エンジンは、  
国土交通省排ガス第3次基準値  
とオフロード法に適合する低エミ  
ッション性能を実現。さらに米国EPA (環境庁) Int. Tier4排  
ガス規制、欧州EU Stage IIIA排ガス規制をも高い水準でク  
リアする環境に優しく、低振動・低騒音性を併せ持つエン  
ジンです。エンジンを鋳造段階から製作する数少ないメーカ  
であるクボタ。その約一世紀にもわたる経験と技術、そ  
して小型産業用ディーゼルエンジン (100馬力以下)  
における世界トップクラスシェア (注: PSR調べ  
2005年データ) の実績が凝縮した新エンジン  
がこれからの現場作業をパワフルに支えます。



### 排出ガス対策型建設機械 (第3次基準) 指定制度について

国土交通省では、建設施工における排出ガスの低減を  
目的として、1991年度より「排出ガス対策型建設機械  
指定制度」を実施し、1996年度から国土交通省直轄工  
事における使用の原則化を行っています。2006年度か  
らは「特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法  
律」(オフロード法) と同等基準の第3次基準値による型  
式指定が開始されました。



# S A F E T Y

## 揺るぎない、信頼。

作業効率を高め、操作性を向上させながら、

最高水準の安全性を実現する。

このテーマを一切妥協することなく

追求したクボタミニバックホー。

躍動する機体には、安心という

クオリティの高まりが備わっています。

### 運転席干渉自動回避システム

バケットが運転室に衝突しないよう、干渉領域に入る前に、ブームが止まることなく滑らかに運転室を回避。従来のようにブームが止まり、再作動時にはブームを干渉領域外まで戻す必要がなく、ノンストップで作業が続行できます。オペレータはストレスを感じることなく、作業効率もアップします。



■ 自動回避領域 ■ 干渉防止領域

### 細部にわたるまで安心を高める、クボタの安全へのこだわり

#### ●安全レバー&エンジンニュートラルスタート

安全レバーをロックすることで不意の誤操作による作業機、旋回、走行の作動を防止。またレバーがロック状態でなければエンジンが始動しない仕組みとなっています。



# TECHNOLOGY

## 際立つ、先進。

力強く躍動する機体の中にさりげなく使えるハイテクを。  
それはより高次元の建設機械を求めたクボタのこだわりの技術思想。  
コンパクト化を追求したボディには、  
いたるところに一步進んだ技術が凝縮されています。

### オリジナル盗難防止装置「SSキー」を標準装備

「SSキー」は、キーに埋め込まれたICチップのキーナンバーを本体が確認することで、はじめてエンジンが始動するハイテクキー。キーの形状が同じでも、別のキーでは始動できません。電気系統・油圧系統・燃料系統の3つをロックするので安心です。



万一キーを紛失しても“登録キー（赤）”を差し込み“個別キー（黒）”を差し込むだけで新しいキーの登録が完了。

新しいキーを登録すると、紛失したキーは使用できなくなります。また1本のキーで複数台の機械が始動できる“お客様専用キー”も準備しています。



キー登録用登録キー（赤）、エンジン始動用個別キー（黒）、お客様専用キー（黄）、お客様専用キー（緑）



### 日本語表示の自己診断機能付液晶ディスプレイ

通常操作時のガイド（アワーメータ・燃料・水温・エンジン回転数）、SSキー登録、各種設定を、見やすい液晶ディスプレイに日本語でわかりやすく表示。万一の異常発生時も内容や処置方法などもきめ細かく表示するので、現場からサービスマンへの伝達もスムーズ。また故障履歴表示機能により、点検時の省力化が図れます。

エンジン回転数 0 1000 2000 r/min

エンジン 1234 回転

燃料消費量 1234.5 時間

燃料を給油 印

## 簡単に開閉できる、フルオープンボンネット

後部と右サイドのボンネットが大きく開くので、エンジン周りや燃料系の日常点検・整備が手軽に可能。本格的な整備の際は、わずか数分で後部と左サイドのボンネットの取り外しができ、内部の点検・整備がスピーディかつ確に行えます。



## シート下点検窓

シートの下部に点検窓を設置。エンジンオイルやラジエター液の注入などメンテナンスが容易に行える便利な装備です。



## 損傷やトラブルを最小限に抑える、先進の装備と優れた整備性

- ダクタイル製オフセットブラケット  
アーム取付部のブラケットに、優れた耐久性を誇るダクタイルを使用。また、外観デザイン面にも配慮しました。
- ポテンションユニットのアーム内装化  
高精度の角度センサをアームに内装し、不意の衝撃から保護します。
- 山型ブームシリンダカバー  
廃材などの積み込み作業時もブームシリンダを損傷から守る特殊形状のカバーを装備しています。
- 分割ドーザホース  
ホースを途中で分割することで、不意の損傷時にも、ホースの整備・交換が容易に行えます。



## ●クローラ緊張スプリングを標準装備

ゴムクローラの耐久性を向上させる緊張装置を装備。

## ●オートグロー採用

自動で水温を感知し、最適なグロー時間に切換えます。

## ●取説・工具入れ

シートの横に取説や工具を入れておくボックスを装備しました。



## 強固なフロント各部

作業中に大きな負荷のかかるブームの両端、走行モータサポートに鋳鋼材を使用。また、フロント支点部は大径フロント支点ピンにより強化しています。



## シートの耐久性を向上

丈夫なシートを採用するとともに、排水穴を設け、内部への水の侵入を防ぎます。



常に最良のコンディションでの作業をサポートするために。

クボタがめざしたのは、スマートな整備性と頼りがいのある耐久性。

迅速かつ確実な点検・整備を見つめて独自の機構や設計を追求しています。

# 網羅する、目配り。

# MAINTENANCE

# PERFORMANCE

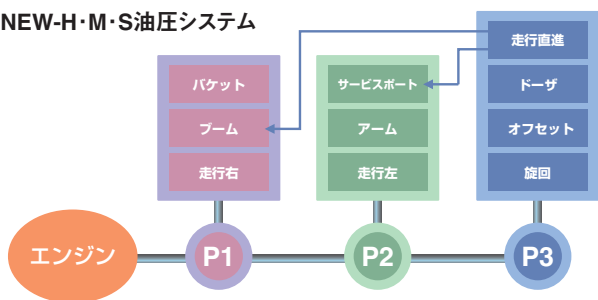
## 抜きこんでる、力量。

力強く掘り、かき込んで、滑らかにダンプ。  
卓越したパワーを発揮しながら、  
流れるようにスムーズな動作をみせる。  
鍛え抜かれたアスリートのような基本性能は、  
クボタミニバックホーの本能です。

### パワフルな掘削力と4連動作のNEW-H・M・S油圧システム

ブーム・アーム・旋回にそれぞれ独立したポンプを使用する3ポンプシステムを採用し、制御範囲の広いコントロールバルブ、可変容量ポンプを搭載。パワフルな掘削性能をはじめ、油圧システムとの最適マッチングにより、バケット・ブーム・アーム・旋回の同時操作を可能としました。さらに、走行直進回路の搭載により、走行時にブーム操作をしても安定した直進走行を実現するなど、現場のハードな要求に高次元でお応えします。

### NEW-H・M・S油圧システム



### 2tクラスに迫る掘削力 & 作業範囲

最大掘削力(爪元) 13.0 kN (1,325 kgf)  
最大掘削深さ 1,935 mm  
最大掘削半径 3,480 mm

### 走行2速を標準装備

スイッチ操作一つで高速モードに切り替えが可能。現場での移動やトラックへの積み込み時にもスピーディな走行で時間短縮が図れます。



### 優れた走行安定性

走行牽引力を20%アップ。現場での移動やドーザによる均し作業に優れた安定性を発揮します。※当社従来機比

### 可変脚仕様(標準採用)

進入路が狭い現場への進入を考慮して可変脚クローラを採用。走行・輸送時はコンパクトな990mmに、作業時には1,240mmに拡張することで安定性が高まり、多様な作業に対応可能。伸縮はレバー操作で簡単に行えます。



走行・輸送時はコンパクトに  
縮小時990mm



掘削作業時は安定性が向上  
拡張時1,240mm



## 油圧パイロットレバー

油圧パイロット式コントロールレバーを採用し、ストレスのない滑らかな操作フィーリングを実現。



## アームかき込み制限を標準装備 (2モード)

アタッチメントに応じて、アームのかき込み位置を標準バケット・平爪の2モードに切り替え可能。アームのかき込み量を自動制限し、平爪バケット装着の場合もブームシリンダの破損を防ぎます。



切替スイッチ

## サービスポート (オプション)

ハンドブレーカなどへの油圧取り出しが可能です。



## スーパーチェンジ/ 4パターンマルチ (オプション)

操作パターンが他社方式に簡単に切り替え可能。また、4つの操作パターンに切り替えることもできます。



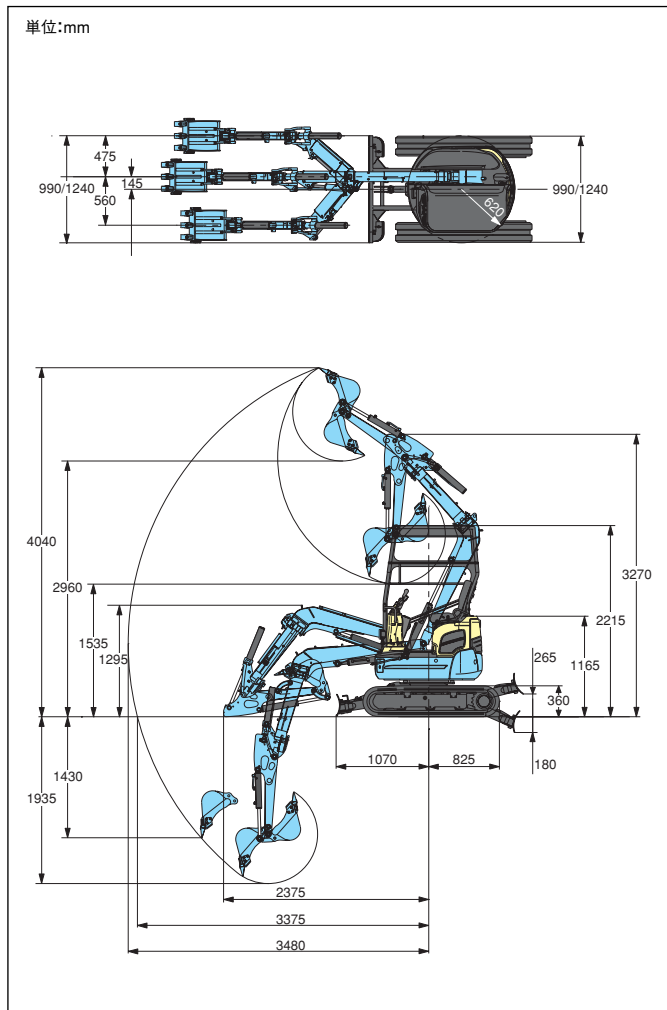
より高い操作性を追求するとともに、現場の声も細やかにフィードバック。見えない部分や小さなところにもクボタの技術とアイデアが息づいています。

# 冴えわたる、小技。

# OPERATION

※掲載の写真はカタログ用に撮影しています。現場を離れる時は作業機を接地してください。

## ■ 作業範囲図



## ■ 仕様

型式	RX-153S	
バケット容量 JIS平積/山積	0.026/0.036m <sup>3</sup>	
標準バケット幅(サイドカッタ含む/含まず)	400/350mm	
機械質量	1,530kg	
機体質量	1,260kg	
機体寸法(輸送時)	全長	3,200mm
	全高	2,215mm
	全幅	990-1,240mm
	最低地上高	160mm
エンジン	区分	クボタ水冷3気筒D782-K3A
	形式	D782-E2-BH-5
	総排気量	0.778L(778cc)
	定格出力/回転数	8.8kW(12PS)/2,100rpm
掘削性能	最大掘削高さ	4,040mm
	最大ダンプ高さ	2,960mm
	最大掘削深さ	1,935mm
	最大垂直掘削深さ	1,530mm
	最大掘削半径	3,480mm
	オフセット量(右/左)	475/560mm
	最小フロント旋回半径(スイング時)	620mm
標準シュー	後端半径	620mm
	最大掘削力(爪元)	13.0kN(1,325kgf)
	標準シュー形式	ゴムクローラ
	シュー幅	230mm
走行部	クローラ全長	1,585mm
	タンブラ中心距離	1,230mm
	クローラ中心距離	760-1,010mm
	走行速度(1速/2速)	2.0/3.6km/h
	登坂能力	30°(58%)
旋回速度	8.0rpm	
排土板	排土板(幅)	990-1,240mm
	排土板(高さ)	260mm
	リフト量(GL上/下)	265/180mm
油圧ポンプ形式	可変容量型ピストン式×2+ギア式×2	
旋回モータ形式	オービットモータ	
走行モータ形式	ピストンモータ:2F	
燃料タンク容量	17.5L	
作動油量	13L(タンク内)/21L(全量)	

## ■ アタッチメント&オプション一覧表 ※納期など詳細は販売店にお問い合わせ下さい。

品名	仕様・用途
狭幅バケット	幅300<250>mm 0.023m <sup>3</sup>
4パターンマルチ	クボタ(JIS)と日立・コマツ、三菱、神鋼パターンに切替え
スーパーチェンジ	クボタ(JIS)と日立・コマツパターンに切替え

※バケット幅< >はサイドカッタ含まず ※バケット容量は新JIS山積で表示

品名	仕様・用途
鉄クローラ	幅230mm、37リンク、ダブルクローサータイプ
サービスポート	24.6L/min 18.6Mpa(190kgf/cm <sup>2</sup> )、ハンドブレーカなどに

- ご使用される時は取扱説明書をよくお読みのうえ正しくご使用下さい。
- 機体質量3t未満の建設機械を運転する場合には、事前に「車両系建設機械運転特別教育」を、3t以上の場合は「車両系建設機械運転技能講習」を必ず受講して下さい。
- 故障や事故を防ぐ為、機械の定期的な点検を必ず行って下さい。
- 特定自主検査は厚生労働大臣又は労働基準監督局長の登録を受けた検査業者で検査を行なうよう義務づけられています。

## 株式会社クボタ URL:<http://www.kenki.kubota.co.jp>

建設機械事業推進部	枚方市中宮大池1-1-1	☎ 072(890)2885
(株)クボタ建機北海道	北広島市大曲工業団地3-1	☎ 011(377)5511
(株)クボタ建機東日本	さいたま市桜区西堀5-2-36	☎ 048(865)5181
東北統括部	名取市田高字原182-1	☎ 022(384)2144
(株)クボタ建機西日本	伊丹市奥畑5-10	☎ 072(781)7715
大阪統括部	和泉市上代町996-1	☎ 0725(45)2299
中部統括部	一宮市観音町1-1	☎ 0586(73)1235
北陸統括部	白山市下柏野956-1	☎ 076(274)9606
中国統括部	呉市広多賀谷3-4-10	☎ 0823(72)0235
四国統括部	丸亀市飯山町下法軍寺90	☎ 0877(98)0277
(株)クボタ建機九州	熊本市八幡5-16-23	☎ 096(358)6100
三光クボタ建機(株)	熊本市長嶺東6-30-30	☎ 096(380)8411

製品の詳しいご相談は下記までご連絡ください。

- 本カタログに記載されている仕様は予告なく変更させていただくことがあります。
- ブレーカ作業をする時は「車両系建設機械(解体用)運転技能講習」終了証が必要です。